

2025年度 日本工学院八王子専門学校											
柔道整復科											
外科学概論 2											
対象	3年次	開講期	後期	区分	必	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	富田泰彦			実務 経験	有	職種	医師（病院にて勤務）				
授業概要											
外科的治療の基礎と具体的方法を学びます。											
到達目標											
外科学を学ぶことで、創傷治癒、感染の知識、抗菌薬の使用法、各種栄養管理法を中心とした術前術後管理の知識、臨床病理学的知識とこれに基づいた切除検体の取り扱い、術後患者の長期経過における各種機能障害の予防法と治療法などの知識が深められる。また、心肺蘇生法を学ぶことで要救助者に対して、今や一般市民も行える一次救命処置（BLS）の気道確保・人工呼吸・胸骨圧迫について熟知することが到達目標である。											
授業方法											
教科書を中心として授業を進める。症状・診断法・外傷などの柔道整復師として求められる知識量に配慮した内容により臨床現場において必要な能力を育成する。											
成績評価方法											
試験と課題を総合的に評価する。											
履修上の注意											
国民の健康に寄与する医療人の育成であることを重視する。全授業の出席を原則とする。正当な理由なき欠席・遅刻・早退は認めない。また、授業中の態度（私語・飲食・居眠り）には厳しく対応する。常に医療現場にて患者に適切な応対ができるマナーを身につけるような心掛けを求める。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。授											
教科書教材											
教科書は「外科学概論」を持参する。その項目ごとに資料を配布する。											
回数	授業計画										
第1回	心肺蘇生術（倒れた人の評価方法や心肺蘇生法の実際）										
第2回	麻酔①（麻酔の種類ならびに全身麻酔法の術中管理と心配される合併症）										
第3回	麻酔②（局所麻酔法の種類と緩和ケア）										

2025年度 日本工学院八王子専門学校	
柔道整復科	
外科学概論 2	
第4回	代謝栄養（高カロリー輸液の適応と維持・管理ならびに合併症）
第5回	消毒滅菌（主な消毒薬の特徴と適応ならびに滅菌方法）
第6回	脳神経疾患①（意識障害・頭痛・てんかんなど）
第7回	脳神経疾患②（中枢性疾患特有な病態や画像観察）
第8回	7回までの振り返りと確認演習
第9回	脳神経疾患③（頭部外傷・脳血管障害・脳腫瘍）
第10回	消化器疾患①（主な検査方法）
第11回	消化器疾患②（食道部・胃十二指腸部疾患）
第12回	消化器疾患③（大腸部や肝臓・胆嚢・膵臓疾患）
第13回	消化器疾患④（その他の腹部外科疾患）
第14回	13回までの振り返りと確認演習
第15回	まとめ